



11月 ほけんだより

令和5年11月7日
やまだこども園
看護師 森・明時

昼夜の寒暖差を感じる季節となり、子どもたちも秋の深まりを楽しみつつ、笑顔で遊んでいます。11月に入り、インフルエンザやノロウイルスなど冬の感染症が流行する時期になりました。うがい・手洗いを徹底し、規則正しい生活を送れるように心がけ感染症を予防していきましょう。



主な症状

急激に 40 度前後の高熱が出て、悪寒や頭痛、のどの痛み、せき、鼻水、筋肉や関節の痛みなどの症状が現れます。吐き気、下痢などの症状が現れることもあります。感染力がとても強く、ふつうのかぜよりも、症状が重いのが特徴です。

インフルエンザの予防接種

インフルエンザのワクチンは、接種しても発症することがありますが、症状が軽くすむことが多いようです。通常大人は、シーズンに1回ですが、子どもの場合は、2回接種が標準です。接種してから、2週間以上たないと効果が現れないため 12 月の流行期に入る前にすませるようにしましょう。ただ、アレルギーのあるお子さんの場合、受けられないこともあります。医師とよく相談してください。

インフルエンザ

インフルエンザ?と思ったら

★受診をして確認を

かぜと区別しにくいのですが、今は検査でインフルエンザかどうかわかります。また、他の感染症にかかっている可能性もありますので受診して確認しましょう。



★脱水症状に注意

高熱が出たり、下痢を起こすと脱水症状が出やすくなります。水分補給には十分注意しましょう。

